

事業評価表

(平成20年度実施事業)

事業CD. 0108402 - 01031

京 都 府 南 丹 市
作成日: 平成21年05月12日

事業名	土地区画整理事業	事業運営方法	<input type="checkbox"/> 直 営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等				所管部署名等
細事業名		委託先	<input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 外郭団体 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 自治会・地縁団体 <input type="checkbox"/> その他 ()				土 木 建 築 部 都 市 計 画 課 担当: 石田
事業区分	事業分類: (A) ハード事業 政策体系CD: 363 <input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 時限事業 (平成 29年度迄)	関連法令・条例等	都市計画法、土地区画整理法				

【事業の概要】

①施策で目指す目標との関連付け	人口フレームの定住化人口の目標を達成するための効果的な事業であり、快適な住環境の創造を目指し若者等の定住化をすすめる。
②事業を実施する必要性	無秩序な市街化の防止と、進みつつある市街化の拡大に対処するため公共施設の一体的な整備改善を行い、健全で良好な市街地の造成を図る。
③未実施事項	現年度予算額 前年度繰越額 計 支出済額 翌年度繰越額 13,607千円 12,000千円 25,607千円 21,606千円 4,000千円 翌年度繰越額の内訳 内林町土地区画整理事業 翌年度繰越額 4,000千円
④他にも効果が見込める施策があるか	地区内に企業誘致を行なうことで、ふるさとで働ける場を増やすことにつながる。

【事業費の推移】

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21予算	平22計画
決算額または計画額	千円	63,794	19,677	21,606	7,700	22,600
うち一般職、嘱託職、臨時職 給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	16,816	9,838	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
一般財源	千円	46,978	9,839	21,606	7,700	22,600
職員等従事人員	人/年	—	—	3.00		
人件費	千円	—	—	18,530		
事業費総額	千円	—	—	40,136		

【主な支出の内訳】

調査設計費	9,606千円 (土質調査, 河川計画)
負担金	12,000千円 (区画道路舗装)

【近隣市町村の取り組み状況】

現在、亀岡市・福知山市で施行されている。

【前年度の評価を受けて改善した点等】

特になし

【所属長総括評価】

①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点 市内の同事業について、事業計画内容の資金計画や整備手法等を検討。 ②当該事業のアピール事項 南丹市のHPに組合のHPを掲載、または、組合理事会・総会にて事業内容を検討頂いている。 ③反省点、今後の展開・方向性等 経済の影響を受けるうる事業であるため、慎重に展開することが必要。

事業活動記録

平成20年度実施事業

政策体系CD	363	事業名	土地区画整理事業			
事業CD	108402-01030	細事業名				
所管部局	土木建築部	所管課	都市計画課	担当	石田	

108402-01030

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
整備事業	<p>●内林町地区 地区北側の「京都進光悦村」と有機的に連携するための都市計画道路と地区内の基盤施設を一体的に整備し、良好な住宅・宅地を供給することにより、京都新光悦村と一体となった個性的で魅力ある拠点空間を創造すると共に、中心市街地近接部での人口定着を促し中心市街地の活性化を支援することを目的として事業推進をしている。</p>	事業認可以前より、解散認可まで技術援助を行なう。	総事業費 2,657,000千円 施行面積 23.0ha 事業期間 平成12年度～23年度 進捗率 約86.9%
	<p>●吉富駅西地区 本地区は、隣接してJR山陰線吉富駅又は、国道9号と京都縦貫自動車道八木西インターがあり、交通結節点として重要な位置にある。さらに、今年度末、JR山陰線の複線化事業も完成予定であり、交通環境に恵まれた利便性の高い市街地として整備を図るべき地区に位置づけられており、良好な環境を有した市街地の形成を図ることを目的として事業推進をしている。</p>	事業認可以前より、解散認可まで技術援助を行なう。	総事業費 3,450,000千円 施行面積 22.8ha 事業期間 平成21年度～28年度 平成21年度 事業認可取得予定
	<p>●八木駅西地区 本事業は、無秩序な市街化の防止と、進みつつある市街化の拡大に対処するため、八木環状線および八木駅西口交通広場をはじめとする公共施設の一体的な整備改善を行い宅地の利用増進と快適な住環境の創造を目指し、併せて病院、小学校と連携した公園の計画により災害時の拠点機能を高めつつ、地域住民の公共の福祉の増進に寄与することを目的として事業推進をしている。</p>	事業認可以前より、解散認可まで技術援助を行なう。	総事業費 1,507,000千円 施行面積 10.5ha 事業期間 平成22年度～28年度 平成22年度 都市計画決定予定